中央ろうきん 友の会ニュース

第８回中央ろうきん友の会本部総会及び宮城県南三陸町、広域避難当事者団体からの報告

【編　集】中央ろうきん友の会事務局
【発行人】鈴 木 政 雄
【発　行】2016年11月15日 No.6

第8回本部総会開催 全ての議案を承認！！

支部・地区本部配賦金は 2017 年度より変更！

鈴木会長

第８回中央ろうきん友の会本部総会は２０１６年１０月７日、中央労金湯島ビルにおいて、代表役員全員の出席を得て開催され、全議案は出席代表役員の総意で承認されました。

総会は野田副会長の司会で開会し、鈴木会長の挨拶後、議事に入りました。

はじめに報告事項として、高橋事務局長より、「業務経過報告」以下４項目について報告が行われました。

その後、審議事項に入り、第１号議案「２０１５年度本部会計報告承認の件」は高橋事務局長、「同内部監査報告」は木村会計監査委員、「同外部監査報告」は井口事務局員より行われました。

２０１６年度も「支部会報コンクール」、「ホームページの表彰制度」を実施します。

第２号議案「２０１６年度中央ろうきん友の会活動方針案」は野嶋副会長から提案されました。この中で、「支部会報コンクール」や「ホームページに係わる表彰制度」は２０１６年度も継続して実施すること、財政基盤強化のための会員拡大では中央労金と更なる連携を強化すること、社会貢献活動では東日本大震災被災地に対する支援の継続とともに、新たに自然災害による被災地（被災者）を支援するため、「災害支援基金」制度（仮称）を創設するなどを重点活動として取り組むとの説明がされました。

その後の質疑では、古賀代表役員（東京）、日比谷代表役員（埼玉）、芹沢代表役員（神奈川）より、発言があり、本部より野田副会長、高橋事務局長、神林事務局長が答弁を行いました。

■出された主な意見

【ホームページ関係】

・パソコンが出来る人が少ない。
本部としてＨＰに対する指針を出し全体のレベルを上げる指導をして貰えたらと思う。

・地区本部総会でＨＰを活用（年間計画だけは載せていく）していくことを提起し確認した。

【災害支援基金制度関係】

・素案には、中央労金管内の災害に優先的に基金を発動することを盛り込んでほしい。

・義援金を募る時に、贈呈先が明確でないと義援金募集活動は難しい。その点を踏まえた素案を出してほしい。

高橋事務局長

芹沢代表役員

日比谷代表役員

古賀代表役員

【財政基盤強化に向けた中央労金との連携のあり方】

・支部活動を活性化すればするほど資金がいる。友の会が預金を増やすには限界がある。中央労金が経営戦略上友の会をどのように位置づけているのか考え方なりを出してもらう必要があるのではないか。

２０１７年度の支部配賦額は２０１６年１２月末日の会員数が基準となります。

第３号議案の「２０１６年度中央ろうきん友の会予算案」は高橋事務局長から、第４号議案の「２０１７年度地区本部・支部配賦金案」は野田副会長から提案され、その後、古賀代表役員（東京）より意見が出され、野田副会長が答弁を行いました。なお、２０１７年度の支部配賦額は、２０１６年１２月末日に会員数が確定した段階で、２０１７年２月２１日（火）に開催する第１９回本部役員会で決定し、２０１７年３月中旬までに各支部に通知します。

野田副会長

第５号議案の「地区本部代表役員数見直しに伴う会則の改正案」は野田副会長から、第６号議案の「本部役員補充選考」は野中本部役員選考委員長から提案されました。この中で、野嶋副会長（千葉）より退任の申し出があったため、会則第１７条ならびに本部役員選考委員会規則第８条の定めにより、補充選考を行う必要があるとの説明があり、後任に今年度千葉地区本部会長に就任した「斉藤勝弘氏」を推薦したい。さらに、補充選考後の補充選任（補充選任すべき役職・副会長、会計監査委員）は本部役員会で行うとの定めがあるが、本部役員会は２０１７年２月まで開催予定がないため、本部三役の協議に基づき本総会で行うことなどを含めた答申案が示されました。

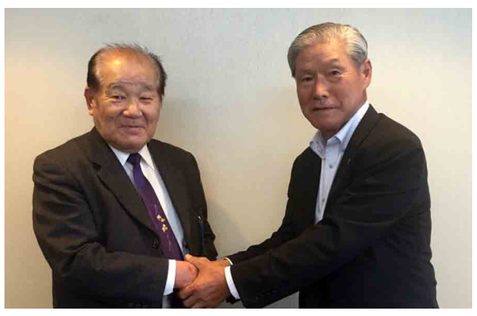
【新たに選任された役員】

・副会長　：森田行男氏
・会計監査委員：井上良治氏
・本部委員　：斉藤勝弘氏

第７号議案の「顧問の委嘱」については野田副会長から、提案され、新友の会発足から本部事務局長、本部副会長を歴任し、友の会発展に貢献された「野嶋幸光氏」を友の会本部「顧問制度規則」に基づき、「顧問」を委嘱するとの提案がされました。

その他の事項のなかで、芳口代表役員（東京）より、「会則２１条で会長が総会で議長の任にあたると定めているが、議長は中立であるべきで、会長が担うのはいかがなものか、見直し検討をいただきたい」との要望が出されました。

下館支部会報と鈴木会長


斉藤勝弘・野嶋副会長

2015 年度「支部会報コンクール」・「ホームページ関係表彰」支部は下記の通りとなりました。

「支部会報コンクール表彰支部」

■中央ろうきん友の会会長賞
　下館支部（茨城）
■中央ろうきん友の会副会長賞
　田無支部（東京）　横須賀支部（神奈川）
■中央ろうきん友の会特別賞
　水戸支部（茨城）　八千代支部（千葉）
　新百合丘支部（神奈川）
■中央労働金庫賞
　日立支部（茨城）　宇都宮支部（栃木）
　大宮支部（埼玉）　桐生支部（群馬）
　渋谷支部（東京）
■中央労働金庫特別賞
　春日部支部（埼玉）

「ホームページ関係表彰支部」

■総アクセス数の部
　１位　西多摩支部（東京）：737 回
　２位　大みか支部（茨城）：662 回
　３位　深谷支部（埼玉）　：655 回
■アクセス率（アクセス数 ÷ 支部総会員数）の部
　１位　狭山支部（埼玉）　：0.455 回 / 人
　２位　新百合丘支部（神奈川）：0.367 回 / 人
　３位　安中支部（群馬）　：0.270 回 / 人
■更新回数の部
　１位　小山支部（栃木）：６回（0.268 回 / 人）
　２位　鹿嶋支部（茨城）：６回（0.146 回 / 人）
　３位　桐生支部（群馬）：５回
※更新回数同数の場合アクセス率が高い支部が上位

南三陸町仮設住宅七自治会からもお礼の手紙とイベントの模様が届きました！

「南方第１期仮設住宅自治会」

宮川安正会長からは、いただいた義援金の使いみちを皆で話し合った結果、温泉が良いとの声が多くあり、５月２３日に「中山平温泉」に日帰りで行ってきました。年内には７割位の方が仮設を出て行くと思われるので、大変思い出に残る楽しい温泉旅行ができました。友の会の皆様本当にありがとうございました。とのお手紙と写真をいただきました。なお、南方仮設住宅はオリンピックボート競技の選手村候補地となっているため、会長は報道陣からの取材攻勢で大変だそうです。

（南方第１期仮設住宅自治会）

「南方第２期仮設住宅自治会」

阿部誠会長からは、多大な義援金をいただき誠にありがとうございました。早速仮設の皆さんと使いみちについて話し合った結果、温泉が良いとのことで近くの温泉を手配し、６月１３日、３５名で日帰り温泉を楽しみました。本当に中央ろうきん友の会さんのお陰で楽しい一日を過ごせたと会員に大変喜んでいただきました。都合が悪かった方には洗剤などを差し上げました。とのお手紙と写真をいただきました。

（南方第２期仮設住宅自治会）

広域避難当事者団体」からお礼とともに義援金を活用した活動報告の写真が届きました！

２０１５年度の東日本大震災義援金は継続支援している宮城県気仙沼、南三陸町の９団体（「南三陸仮設住宅七自治会」、「気仙沼市天ヶ沢仮設住宅親睦会」、「気仙沼市階上地区まちづくり協議会」）に加えて福島県・宮城県・岩手県からの「広域避難当事者団体（１６団体）」に贈呈いたしました。義援金贈呈から６ヶ月が経過し、贈呈先からお礼状と写真が送られてきましたので、紙面にて紹介いたします。

「ふくしまあじさい会」

佐々木正教会長からは、原発事故により、故郷を追われ、栃木県内で避難生活を送っている人の集まりで、「ふくしま」へ戻るまで頑張ろうという事で４年前に発足し、毎月第２木曜日の定期交流会、第３日曜日のボランティア活動（自治医大構内にある子ども医療センターの庭園管理等）含め、昨年は年間４０回の交流会を実施しました。東日本大震災から５年７ヶ月が過ぎ、津波被災地は、復旧が進んでいるのが見てわかりますが、原発事故での復旧は、まだまだ先の様に思われます。いただいた貴重な義援金で活動しています。とのお手紙と写真をいただきました。

ふくしまあじさい会交流会・血圧測定

「避難者孤立防止の会」

猪狩弥市代表からは、７月に柏市内とＮＴＴ柏豊四季社宅に避難されている１７名が参加し、日頃の思いやらを話す機会を作ることが出来ました。柏に避難後に生まれたお子さんを見て過ぎ去った月日を感じた一時でした。ＮＴＴ豊四季社宅も来年３月で閉鎖されることが決まり、また一から出直しの生活が待っており、就労に病院や買物等不安いっぱいとの話でしたが、お腹いっぱいになって、希望が芽生えてきました。一同に代わり改めて御礼申し上げます。とのお手紙と写真をいただきました。

避難者孤立防止の会交流会

「どんぐりの会」

富永悦子さんからは、いただいた義援金は全員の総意でサークル活動に使わせていただいております。とのお手紙と写真をいただきました。

「むさしのスマイル」

松尾淳子さんからは、当会には子どもからお年寄りまでが集い、活動開始から４年を数えます。

子供たちの成長を孫のように、親戚のように見守る姿は、ふるさとでの寄合いや集落の付き合いを思い出させてくれます。頂戴した義援金は会の運営に大切に活用させていただいております。とのお手紙と写真をいただきました。

どんぐりの会

むさしのスマイル

どんぐりの会

戸倉中学グラウンド仮設住宅自治会」

今野昭雄会長からは、友の会の皆様よりいただきました義援金を９月１１日、仮設住宅周辺の草刈り後に、仮設住民との交流を兼ねた海鮮バーベキューに使わせていただきました。仮設住民も大変喜んでおりました。とのお手紙と写真をいただきました。

（戸倉中学グラウンド仮設自治会）

「南三陸ばっぱの会は今年１２月で解散します」

２０１３年８月に東京災害ボランティアネットワークの上原さんとのご縁で、中央ろうきん友の会の野嶋様と神林様が私たちの仮設住宅を訪問していただいたことを契機として、仮設住民有志による「南三陸ばっぱの会」のつるし雛ストラップの販売に協力いただけることになりました。あれから３年が経過し、中央ろうきん友の会の皆様や中央労働金庫の皆様には大変大きなご支援をいただきました。有志一同感謝の気持ちで一杯です。

仮設住宅入居から５年半が経過しました。町の復興も徐々に進み、来年３月までには入居者全員が仮設住宅を出て新しい土地での生活がスタートすることになります。週１回集会所に集まってお茶を飲みながら、手作業をすることは何よりの楽しみでしたが、これからは、メンバーが集まることが困難となりますので、大変残念ですが、１２月を以って「ばっぱの会」を解散することにいたしました。中央ろうきん友の会の皆様のお心遣いとご支援に心から感謝申し上げます。

ばっぱの会代表涌澤雪江

追伸、ストラップの在庫がありますので、よろしければご支援をお願いします。

（ばっぱの会：阿部さんと涌澤さん）

本ニュースに関するお問い合わせについては、右記にある中央ろうきん友の会事務局までお問い合わせください。なお、ニュースは、会員向けのニュースとなっておりますので、地区本部や支部の会議やイベント時にご活用ください。

中央ろうきん友の会ニュース
【編　集】中央ろうきん友の会事務局
【発行人】鈴 木 政 雄
【問合先】千代田区一ツ橋2-6-2
日本教育会館7階
TEL　03-5212-5202